

<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02424	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	芸術文化グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 06 社会教育費 目 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~ ) 期間限定複数年度( ~ )			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

<b>2. 事務事業の概要・目的・指標&lt;Do&gt;</b>						
<b>(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)</b>						
霧島の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境やジオパークに関するものなどを捉えた「自由部門」と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えた「エアポート部門」の2部門で構成する写真の公募展。 写真に対する関心を高めてもらうと共に、霧島の魅力を再発見し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。 応募作品撮影期間 1月~翌年1月						
<b>【手順】</b> 開催要項の決定 募集チラシの作成・広報 応募作品の受付 応募作品の審査 優秀作品の展示・表彰(各地区の巡回展も開催する) 出品料=1点目1,000円。2点目以降1点につき500円。各部門1人5点まで。(学生は無料)						
<b>活動指標 (事務事業の活動量)</b>						
	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	
ア 延べ展示日数	日	94	100	94	100	100
イ						
ウ						
<b>(2) 事務事業の目的</b>						
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 写真に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	488	500	425	500
イ 写真に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	195	220	171	220
ウ 写真に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	89	100	74	100
<b>(3) 総合計画との関係</b>						
<b>基本事業の目的、取組方針(総合計画より)</b>						
子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。						

<b>3. 前年度の評価表に記載した課題</b>		<b>4. 事業費の推移</b>					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画	
令和2年3月に展示期間が予定されている本事業は、同年に開催される「きりしま国体の文化プログラム」の一つとして実施可能な事業になり得るものと認識している。このことから、本年度の事業実施において「きりしま国体」の文化プログラムとしてどのような開催方法とすべきかを検討。		事業費	千円	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	220	281	325	
		一般財源	千円	459	204	261	
		事業費	千円	679	485	586	

<b>5. 平成31年度の実績及び成果</b>	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
募集期間 令和2年1月6日~1月24日	応募の多かった昨年と比較すると応募点数が63点、応募者数が24人減少した。原因としては昨年度まで1点500円だった出品料を1点目のみ1,000円としたことが考えられる。(歳入は26,500円増加) 市内応募者が43.3%、市外(県内)応募者が49.1%、県外応募者が7.6%で、市外住民が霧島市を訪れるきっかけとなった。 市内地区別の出品状況は国分、隼人が多かった。
展示期間 令和2年3月7日~3月19日(国分北' ックナ-市民ギャラリー)	
巡回展 令和2年3月24日~6月19日(7会場)	
出品点数 425点	
出品者数 171人	
市内出品点数 164点(国分92、溝辺3、横川5、牧園11、霧島1、隼人50、福山2)	
市内出品者数 74人(国分41、溝辺2、横川3、牧園4、霧島1、隼人22、福山1)	
市外出品点数 261点(鹿児島市71、始良市97、薩摩川内市16、鹿屋市12、その他県内34、県外31)	
市外出品者数 97人(鹿児島市30、始良市29、薩摩川内市7、鹿屋市3、その他県内15、県外13)	

事務事業 番号	02424	事務 事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	近隣市町村でも様々なコンテストが開催されているが、「霧島」「空港」に特化した写真コンテストは本市にしかできない。本事業があることで、写真愛好家のモチベーションが上がることはもちろん、鑑賞者に霧島の魅力を伝えることができる。撮影のために本市を訪れる市外住民も多い。また、入賞作品は市が作成する資料等の素材としても活用されている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	無料ウェブサイトや公募ガイド等に掲載するなど、作品募集についてより一層の周知・広報に努める。審査や結果発表など運営方法について改善を図る。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	霧島と空港をテーマに始まった公募展ではあるが、似たような構図など出品作品のマンネリ化が見られる。これまでの積み重ねも大切しつつ、「暮らし」や「人物」など新たなテーマを設けるなど改革を検討したい。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
	維持						
	縮小						
	休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02425	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	芸術文化グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 06 社会教育費 目 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~ ) 期間限定複数年度( ~ )			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 平成16年に国分市制施行50周年と舞鶴城築城400周年を記念して「国分市美術展」として初開催。平成17年は「きりしまいきいき塾」事業の一環として開催され、合併後の平成18年からは「霧島市美術展」と名称を変更し、旧霧島町で開催していた「8号洋画展」をテーマ部門として位置づけ開催した。平成22年は市制50周年記念として「こども絵画展」を同時開催し、翌23年から「こども絵画展」を「ジュニア部門」として編入した。平成25年から「全国公募」を開始、平成29年から名称を「きりしま美術大賞展」へ変更し現在に至っている。  
 美術展の運営については、実行委員会を組織している。

【手順】  
 実行委員会(開催要項決定など) ポスター・チラシ作成 広報 実行委員会(具体的な実施方法について)  
 搬入(9月上旬) 審査(9月中旬) 表彰式及び展示(10月上旬) 搬出(10月下旬)  
 巡回展(松下美術館)(11月) 実行委員会(精算事務)  
 出品料=1点3,000円。各部門1人3点まで。(ジュニア部門は1人1点、応募無料)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 延べ展示日数	日	27	30	28	30
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 美術に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	2,754	2,850	2,991	2,900
イ 美術に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	2,699	2,650	2,936	2,700
ウ 美術に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	2,627	2,500	2,884	2,550

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)  
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。  
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 令和2年度に開催されるかごしま国体に際し、開催期間が重複するイベントの一つとして開催計画を見直す必要がある。しかしながら、本事業が公施設の一部を長期にわたり占有しなければならぬことから、開催時期を変更した場合、例年開催されている他のイベントの関係団体及び関係者に事象による不都合が生じる可能性があることから慎重に検討する必要がある。

4. 事業費の推移

単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	1,644	1,426	1,431
事業費	千円	1,644	1,426	1,431	0

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 国分シビックセンター市民ギャラリー、エントランスホール、共通ロビーを利用して展示会を開催し、一般・ジュニア・高校生部門の入賞作品を展示した。 ・展示期間 令和元年10月5日~10月18日(14日間) ・展示点数 534点(自由48、テーマ47、高校生7、ジュニア432) (巡回展=令和元年10月22日~11月4日(14日間)/展示点数 47点(自由23、テーマ24)) ・応募総数 2,991点(自由89、テーマ97、高校生7、ジュニア2,798) ・応募者数 2,936人(自由67、テーマ64、高校生7、ジュニア2,798)  ・一般応募者数 131人(霧島市80、鹿児島市19、伊佐市4、湧水町4、その他県内13、県外11) ・うち霧島市地区別 80人(国分44、溝辺0、横川2、牧園1、霧島7、隼人23、福山3)	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載< 昨年と比較すると自由部門が26点減少、テーマ部門が6点増加、高校生部門が4点減少、ジュニア部門が261点増加した。一般(自由・テーマ)部門はやや減少傾向にあるものの、ジュニア部門は年々増加している。 幼児から80代といった幅広い年齢層から応募があった。 一般(自由・テーマ)部門の市内応募者は61.1%、市外(県内)応募者は30.5%、県外応募者は8.4%に留まったが、遠くは東京都からも応募があった。
--	---

事務事業 番号	02425	事務 事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目 的 妥 当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		B	他市町で同様の公募展や美術団体ごとの展示会が行われているが、霧島に特化した部門を設けることで愛郷心を育み、未来を担う幼児・小中学生の豊かな心の醸成に寄与している。しかし、一般部門の出品者数の減少や人件費の増加など今後の美術展のあり方について検討が必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ( 成 果 )	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
					拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	今年度は事業休止。（「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」と日程が重複する予定だった為。）令和3年度は再開予定だが、これまで作品の搬入、審査、保管に使用していた隼人公民館会議室が使用できなくなることから、代替施設を確保する必要がある。また、事業規模や運営方法についても検討していく必要がある。				
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	令和3年度は霧島市で10月に「地域伝統芸能全国大会かごしま大会」が開催される。美術展と開催時期が重なることから、美術展の運営方法について検討が必要である。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ( 成 果 )	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
							コスト投入（予算）の方向性
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02427	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	芸術文化グループ	
予算科目目	会計 一般会計 10 教育費 06 社会教育費 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~ ) 期間限定複数年度( ~ )			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 市内の小中学生に良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供することで、豊かな心の醸成を図る。

- 小学生対象 = 市町村による青少年劇場(市内の小中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。)
- 中学生対象 = 生徒芸術鑑賞会事業(市内の小中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。)
- 小学6年生対象 = 劇団四季「こころの劇場」(市内の小学6年生全員を市民会館に招待し演劇鑑賞の機会を提供する。)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 舞台演劇 コンサートの開催数	回	10	11	12	11
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,546	3,600	3,511	3,600
イ 霧島市内の小学生	霧島市内の小学生の数	人	7,468	7,500	7,501	7,500
ウ						

  

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	5,869	5,700	5,801	5,800
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。  
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 今年度、小学生については3年毎のメニュー見直しの年になっており、【弦楽四重奏】に変更される予定であるが、近年、器楽演奏のメニューが揃っていることから、3年後のメニュー決定に当たっては可能な限り、舞台公演など器楽演奏以外のメニューを希望するなどにより子供達の豊かな心の醸成に努めたい。また、中学生については、部活として活動している吹奏楽のレベルアップと地元で毎年開催される霧島国際音楽祭のPR効果を狙って引き続き、霧島国際音楽ホールのおとどけコンサートによる公演を依頼する。小学生のみではなく広く市民にその鑑賞機会を広げるため、自主文化事業としての開催について模索していく。

**4. 事業費の推移**

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度		3年度	
			当初予算	決算	当初予算	計画		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	3,047	4,560	3,946	4,512	4,512	4,512	
事業費	千円	3,047	4,560	3,946	4,512	4,512	4,512	

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1 青少年劇場「弦楽四重奏団 Bienen Quartet」6公演(12校) 国分南小(平山小・塚脇小)、青葉小、大田小(霧島小・永水小) 富隈小、天降川小、横川小(安良小・佐々木小) 2,836人	青少年劇場では全国で活躍するアーティストの生演奏を、生徒芸術鑑賞会事業では県内アーティストの生演奏を披露し、市内の小中学生に良質な芸術・文化に触れる機会を提供することができた。また、小学6年生には全国的に有名な劇団四季の舞台鑑賞の機会を提供し、豊かな心の醸成に寄与した。 青少年劇場開催予定だった上小川小学校はインフルエンザの流行で学年閉鎖となっており、開催を中止。次年度開催予定とした。
2 生徒芸術鑑賞会「おとどけコンサート」公演(中学校4校) 溝辺中、舞鶴中、横川中、牧園中 1,123人	
3 劇団「四季」こころの劇場「はだかの王様」 小学6年生全員 市民会館 2回公演 1,349人	
4 その他芸術文化事業(文化庁・県主催)の活用 日当山中、霧島中 493人	

事務事業 番号	02427	事務 事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	感受性の高い児童生徒の感性を高めるためには優れた芸術文化を体感させることが重要であり、次世代を担う子どもたちの豊かな心の醸成に寄与する事業であるため継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	小学生対象の青少年劇場は3年毎にメニューを見直しており、昨年度から「弦楽四重奏」を実施。今年度も同様の予定。中学生対象の生徒芸術鑑賞会事業は霧島国際音楽ホールでの「おとどけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。「こころの劇場」は劇団四季と調整し実施していく。 全ての事業について、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、実施時期、実施方法等を検討していく。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	全ての児童生徒に小学生のうちに2回、中学生のうちに1回芸術鑑賞の機会を、小学6年生で演劇鑑賞の機会を提供しており、今後も継続していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
	維持						
	縮小						
	休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02428	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		グループ	芸術文化グループ	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		内線番号	3981	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和42年度 ~ )	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度( ~ )	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等		
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画		

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 会館の管理運営及び自主文化事業の企画運営も含め「(株)舞研」を指定管理者として委託し、新たに5年間の指定管理が開始された。施設や設備に修繕が必要とされた場合は、年間におおむね100,000円までは指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担としている。(基本協定書第15条第2項)  
 [施設の概要]  
 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル)  
 延べ床面積 4,472㎡  
 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12  
 休館日 毎月第1月曜日、年末年始 開館時間 午前9時~午後10時

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 会館日数	人	347	348	348	347	347
イ						
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181	123,908
イ							
ウ							
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 文化的催し物を鑑賞してもら	総入場者数	人	61,300	69,600	53,690	69,600	69,600
イ 稼働日数	貸し館等の利用があった日数	人	237	348	240	347	347
ウ 稼働日数(ホール)	ホールの利用があった日数	人	196	203	196	202	202

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。  
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 自主文化事業のメニュー選定については、企画段階から指定管理者と十分な協議を行い、一定額を支出す予算構造から脱却し、弾力的な運用を行うことにより質の高い舞台芸術の公演を目指す。また、経年劣化に伴う施設設備の不具合については、その都度対応しながら将来的に市民会館のあり方を検討する。

**4. 事業費の推移**

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	5,700	5,550	5,550	5,500	5,500
一般財源	千円	50,443	50,572	50,624	46,387	46,387
事業費	千円	56,143	56,122	56,174	51,887	51,887

**5. 平成31年度の実績及び成果**

**(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>**  
 自主文化事業をはじめ、芸術文化団体の芸術祭や文化祭の開催、幼児園の発表会、小中高校の文化部活動及び吹奏楽部演奏会と利用され、また、霧島市事業として市民表彰や成人式並びに舞鶴大学の開催、劇団及び楽団による練習や公演、劇団四季の「こころの劇場」に活用された。年間を通じて137件、53,690人が利用した。その内、市民会館自主文化事業として5つのプログラムを実施し、1,808人の方々が鑑賞や体験をした。

**(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>**  
 文化協会等の芸術祭や、学校の発表会に場所を提供することにより、市民が芸術文化を発信することができた。また、市民会館自主文化事業、コンサートや演奏会が開催されることにより市民が音楽や舞台などの芸術に親しむことができた。

事務事業 番号	02428	事務 事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市民会館は、芸術文化の拠点施設である。現在、指定管理者制度を導入し、円滑に運営を行っている。公共性の高い施設である為、市費を投じるのは妥当と言える。自主文化事業を通し、質の高い舞台芸術に市民が触れられる機会を設けている。しかし、施設の老朽化などハード面の問題があるため、施設の今後のあり方を検討する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			レ
		維持			
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	市自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。市民会館は建築されてから54年、大規模リニューアルから22年が経過することから、霧島市民会館の今後のあり方を検討する。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	市民会館は建築されてから55年、大規模リニューアルから23年が経過することから、霧島市民会館の今後のあり方を検討する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	市民環境部長 本村 成明	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充		レ	
		維持			
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	令和元年度に「霧島市民会館あり方検討委員会」の設置の準備を行い、令和2年度に同委員会を設置し、開催した同委員会において、「市民会館は大規模改修を行い、令和10年頃を目途に新たな検討委員会を立ち上げ、新館建設の検討を開始する」とこととなった。今後は、空気調和設備や特定天井及び外壁の改修、音響や照明設備の更新を一連の大規模改修と位置づけ、年次的に進めていく。				



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02429	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	002	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援		グループ	芸術文化グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成 8年度 ~ ) 期間限定複数年度( ~ )			
目録	款 10 教育費 項 06 社会教育費 目 06 文化振興費	根拠法令・条例等	特になし			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 スポーツ・文化振興課芸術文化グループが所管する芸術文化団体(霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会及び霧島国際音楽祭・霧島国際音楽交流会)が行っている活動は本市の芸術文化振興に多大な貢献をしていることから、補助金を交付してその運営の継承及び安定化を図っている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 補助を行った団体数	団体	5	5	5	5
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 補助団体	補助団体数	団体	5	5	5	5
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 適切に運営される	適切に運営された団体数	団体	5	5	5	5
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。  
 また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 現下の課題としては、文化協会、神楽振興会において高齢化による会員の減少が顕著になりつつあると認識しており、新規会員の加入促進策について検討が必要である。また、文化協会各支部での活動が困難になりつつあることから、文化協会の支部活動のあり方について検討する時期を迎えている。

**4. 事業費の推移**

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	1,400	0	0	0
一般財源	千円	9,984	9,184	9,313	9,184	9,184
事業費	千円	9,984	10,584	9,313	9,184	9,184

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 文化協会は、支部ごとに文化祭を中心とした活動と、国分支部・隼人支部はそれに加えてチャリティーショーなど地域の特性を生かした活動を行った。 少年少女合唱団は、年間を通した練習に加え、県の合唱祭や白い歌青い歌フェスティバルへ出演した。霧島神楽振興会は、前年に引き続き、南九州神楽まつりや郷土芸能の夕べに出演した。 霧島国際音楽祭は、天候による変更もなくスケジュールに沿って開催された。ピュッフェパーティは天候を考慮して屋内開催で行われた。	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載 文化協会及び霧島神楽振興会においては、高齢化に伴う会員減少が顕著になりつつある。しかしながら、全ての団体ともに、年間を通じた独自の活発な活動により、市民を含めた多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供できた。
--	--

事務事業 番号	02429	事務 事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
<b>総合評価判定基準</b>		<b>総合評価</b>
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b>
		<b>理由</b> 各団体の活動により、市民が芸術文化に触れるきっかけづくりができている。また芸術文化活動の受け皿となる団体の維持継承に市費を投じることは、多くの市民にその機会を与えることに繋がっていると考えられる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	文化協会、神楽振興会において高齢化による会員の減少が顕著になりつつあり、新規会員の加入促進が必要である。また、活動が困難になりつつある文化協会支部もあり、支部活動のあり方について検討する時期を迎えている。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	各団体ともに新規加入の促進をはかるとともに、文化協会においては活動が困難になる可能性がある支部もあることから、組織のあり方を検討するよう助言を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>					
事務事業番号	02447	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興グループ
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和33年度 ~ ) 期間限定複数年度( ~ )
	款	10 教育費			
	項	07 保健体育費			
目	02 社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の各地区ごとにスポーツイベントを開催する事業。運営は市及び各地区実行委員会等が連携して行っている。全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。

国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール)、溝辺地区(球技、駅伝、ウォーキング(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止))、横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)、牧園(ソフトボール(荒天のため中止)、バレー、グラウンド・ゴルフ、ミニ運動会、ゲートボール、ゴルフ)、霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション)、隼人地区(ウォーキング、室内バタンク、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)

【補助金額】国分地区：190,000円 溝辺地区：325,000円 横川地区：180,000円 牧園地区：247,000円 霧島地区：250,000円 隼人地区：299,913円 福山地区：179,993円

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 各地区スポーツ祭参加者数(7地区22競技)	人	3,095	4,000	3,410	4,000
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 霧島市居住者及び通勤者	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通して親睦を図れた市民の数	人	3,095	10,000	3,410	5,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

各地域を主体として行われるスポーツ祭は、地域住民にとって身近な地域行事の一つであり、スポーツを通して、スポーツへの関心や、地域住民や家族の親睦を図ることができ、今後も自主的な運営が行われるよう、各地区スポーツ祭実行委員会への助言・指導を引き続き行う。また、日程や種目については、興味や関心に対応したものを取り入れることにより参加者増を図る。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,687	1,800	1,620	1,800
事業費	千円	1,687	1,800	1,620	1,800	

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
各地区では、市民が身近で気軽に参加できるスポーツ事業として、地域の実行委員会等が主催する地域スポーツ事業がある。その企画・運営は、スポーツ推進委員、自治組織の役員等が担っている。大会助成として補助金を実行委員会に支出して活動を支援した。 【参加者数】 国分地区：551名 溝辺地区：771名 横川地区：303名 牧園地区：538名 霧島地区：409名 隼人地区：371名 福山地区：467名 合計：3,410名	各地区では運動会・各種スポーツ祭などの自治組織中心の自主的なスポーツ交流事業が展開され、身近な場所で様々な年代が、スポーツを楽しむ場を提供できた。荒天等で中止した事業が多かった平成30年度と比べ、計画どおりに実施でき、参加者も増加した。 【中止とした事業】 溝辺地区：ウォーキング大会 牧園地区：ソフトボール

事務事業 番号	02447	事務 事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b> 地区自治公民館やスポーツ推進委員等の市民の主体的な取組みであり、市が補助金交付や事務的補助を行うことは、参加者や観戦者のスポーツを、みる・する・支えるの観点から、スポーツをする機会の創出と、相互の親睦を図られ、市民のスポーツ活動が充実することから妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	より多くの市民が参加しスポーツを楽しめるよう、日程や種目についてニーズ把握に努めるとともに、競技団体や地区を越えた取組みについても、市民の意見等を尊重し検討する。なお、競技団体でも市民を対象にした取組みを実施しており、また競技によっては地区毎に実施しているものもあるので、今後、各競技団体や地区を越えた取組みを市が調整し、地区を越えた市民の繋がりや事業費の削減に繋げる。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	自主的な運営が図れるよう、引き続き各実行委員会への助言・指導を行い、年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるプログラムになるよう、実行委員会と協力し運営していきたい。また、日頃スポーツを行わない市民にも参加してもらえるような周知方法やプログラム等を検討する。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02448	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成 3年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)**

・場 所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等を行い、展示館への無料見学を実施している。  
 ・種 目 ジョギングの部 4.8km (高校生以上)、2.4km (小・中学生)  
 駅伝の部 一般男女・混成・中学男女7区 9.6km、小学男女8区9.6km  
 ・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)3,000円/人・中学生以下2,000円/人  
 駅伝の部 一般(高校生以上)8,000円/チーム・中学生 7,000円/チーム・小学生 5,000円/チーム  
 主催は、霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会。職員は実行委員会事務局員として、会場の設営、コースの確認、協賛金の依頼・徴収、大会運営などを主体的に行っている。県内外からの参加があり駅伝競技としては県内でも位置づけられた大会に成長しており、市の魅力度アップにつながっている。最近では自動計測システムを導入し参加者へのスピーディな記録集計を行っている。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 駅伝コース(部門)の数	コース・部門	7	7	7	7
イ					
ウ					

**(2) 事務事業の目的**

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	1,821	1,850	0	1,900
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)
ア ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しめた人の割合%		100	100	0	100
イ 上野原縄文の森を知ってもらう	来場者数(イベント参加者数)	人	5,500	5,500	0	5,500
ウ						

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

鹿児島マラソンの開催に伴い、ここ数年参加者が減少傾向にあるため大会運営が、資金面において非常に厳しい状況になっている。今年度のように新たな参加者の確保や協賛企業の開拓を引き続き行いたい。

また、参加者駐車場として上野原縄文の森及び上野原テクノパーク立地企業から無償で敷地を借りているが、台数が不足している状況が続いており、これらの問題解決の検討を行う必要がある。

また2020年に開催されるかごしま国体・かごしま大会のPRについても行いたい。

**4. 事業費の推移**

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,000	2,000	1,618	2,000	2,000
事業費	千円	2,000	2,000	1,618	2,000	2,000

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>
参加申込者がジョギング1,679名(103名、駅伝1,576名)であった。特別協賛企業10社、広告協賛企業62社、上野原テクノパーク立地企業駐車場の無償貸与6社による協力の承諾をいただいております。スタッフは、司会者1名、看護師4名、スポーツ推進委員37名、霧島市陸上競技協会15名、市職員24名、高校生ボランティア30名により運営を行えるよう進めていた。また、昨年に引き続き、県と協働して上野原縄文の森展示館への無料見学、霧島青年会議所による舞鶴鍋の振る舞い等の取組も予定しているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となった。	駅伝大会中止により事業成果を上げることができなかったが、参加者、協賛企業、関係者の方々に速やかにお詫言及と返金処理等を行い、引き続き次回大会への参加、支援等を要請した。

事務事業 番号	02448	事務 事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	縄文の森駅伝大会参加者の運動習慣を継続する機会となりスポーツ振興に寄与する。また、市外からの参加者に上野原縄文の森を知ってもらうことで市の観光PRとなっている。さらに、地元企業の協賛、霧島青年会議所による舞鶴鍋振る舞い、学生ボランティアによる参画は、市民の交流やまちづくりの意識向上等に非常に重要と考えている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善 << >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	参加者や来場者に本大会を楽しんでいただくことは、大会を通じてより多くの方が運動や健康に関心を持ってもらうほか、市内外・県内外、老若男女を問わず参加できるよう大会ホームページ等を活用しながら広報に努める。 近年、鹿児島マラソンやこばやし霧島連山絶景マラソン大会等の開催に伴い、参加者がやや減少傾向にあるため、資金面において、大会運営が、非常に厳しい状況になってきている。新たな参加者の確保や協賛企業の支援をいただけるよう努める。 令和2年度は、第30回記念大会であることから、呼び水となるような取組みを行い、さらなる参加者の増加を図る。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	近年、鹿児島マラソンやこばやし霧島連山絶景マラソン大会等の開催に伴い、参加者がやや減少傾向にあるため、資金面において、大会運営が、非常に厳しい状況になってきている。新たな参加者の確保や協賛企業の支援をいただけるよう他自治体スポーツイベントと連携等の可能性について検討をする。 また、中長期的には、霧島市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の参画を促し、民間のアイデアを取り入れつつ、より良いスポーツイベントとなることについても検討したい。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02449	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	上小園 拓也	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成23年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進審議会条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)**  
 市のスポーツの推進に関する事項について調査審議するため、スポーツ基本法第31条の規定に基づき、霧島市スポーツ推進審議会を設置している。審議会は霧島市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する。  
 (1) 生涯スポーツの推進に関すること。  
 (2) スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。  
 (3) スポーツ団体及び指導者の育成に関すること。  
 (4) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。  
 組織は、スポーツ関係団体、及び校種別代表、計10人の委員で組織している。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)
ア 開催されたスポーツ審議会の回数	回	2	3	0	3
イ					
ウ					

**(2) 事務事業の目的**

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)
ア スポーツ審議会委員	スポーツ審議会委員	人	10	10	10	10
イ						
ウ						

  

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)
ア スポーツの推進に関する事項を審議する	スポーツ審議会に諮問した件数	件	1	2	0	2
イ						
ウ						

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)**  
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。  
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 ・霧島市スポーツ振興計画を策定する年度となっていることから、同計画案を作成し、審議会に諮問を行う。  
 ・現在の委員の任期が令和2年3月31日であることから、本年度中に次期委員を決める。

**4. 事業費の推移**

事業費投入量	財源内訳	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
			決算	当初予算	決算	当初予算	計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	69	121	0	121	121
	事業費	千円	69	121	0	121	121

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
スポーツ審議会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策により会議の開催を中止し、委員に次年度のスポーツ振興事業の方針や内容の説明を、資料の送付にて行った。	新型コロナウイルス感染症対策により会議を開催することが出来なかったが、次年度のスポーツ振興計画を策定するスケジュール等を報告するに留まった。

事務事業 番号	02449	事務 事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
<b>総合評価判定基準</b>		<b>総合評価</b>
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b>
		<b>理由</b> スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法及びスポーツ推進審議会条例によって設置されているものであり、縮小・廃止はできない。また事業費についても出席した委員の報酬及び費用弁償のみであり削減の余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	令和2年度はスポーツ振興計画の最終年度であるため、第二次スポーツ振興計画（仮称）の計画内容を審議会に諮問する。また審議会にて提言された内容を速やかに協議・検討し、スポーツ振興事業に反映できるよう努める。					
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	審議会への諮問内容等を整理し、他市の審議会運営についても参考にして活発な審議・進言ができるよう、運営を改善していきたい。					

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02450	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市立学校施設使用条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体であれば、登録することにより定期的に借りることができる。小学校(屋内34箇所・屋外35箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外12箇所)  
 申込み方法: 国分地区屋外施設においては各地区自治公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。  
 開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。  
 受益者負担: 国分地区屋外施設においては地区自治公民館、他の地区においては学校へ直接確認。  
 【使用料】一般: 体育館210円、武道館210円、グラウンド830円 児童生徒: 体育館110円、武道館110円、グラウンド420円  
 利用日誌の管理は管理指導員(教頭等)が行い、スポーツ・文化振興課へ報告。集計表をもとに市が納付書を発行し入金確認を行う。

活動指標(事務事業の活動量)		単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア	開放した学校の体育施設の数(小学校(体育館・グラウンド)・中学校(体育館・グラウンド・武道館))	施設	70	94	73	94
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア	市民	人口	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア	スポーツ活動ができる	延人	177,001	180,000	170,547	180,000
イ	スポーツ活動ができる	団体	237	260	254	260
ウ						

(3) 総合計画との関係

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

小中学校との報告書のやり取り等、事務が煩雑になっており、入力誤り等によるミスも発生するリスクが大きい。入力様式の見直し等、業務内容に効率化できる部分がないか検討していく。

4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	2,168	2,300	0	2,318
		一般財源	千円	0	153	2,181	177
		事業費	千円	2,168	2,453	2,181	2,495

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体延数: 254団体</li> <li>・利用延人数170,547人</li> <li>・平成22年度の条例改正により体育館の使用料について統一した基準に則って実施し、利用団体の登録業務、使用料納付書の請求業務、集計業務、管理指導員への報酬支払い業務を行った。</li> </ul>	市民スポーツの推進、コミュニティ活動の促進が図られた。また、学校体育施設を開放し、活用することにより地域住民の親睦とコミュニティスポーツの普及と健康増進、生涯スポーツの振興に成果を上げることができた。また本事業で事故等の発生もなく、安全に体育施設を開放することができた。

事務事業 番号	02450	事務 事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
<b>総合評価判定基準</b>		<b>総合評価</b>
A:継続して取り組むことが妥当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b>
		<b>理由</b> 本事業を縮小等した場合、多くの市民のスポーツ活動の場がなくなり、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能を十分に発揮できなくなるため、継続して取り組むことが妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 ( 成 果 )	拡 充			
		維 持			レ
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)		縮 小			
		休廃止 (統合含む)			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入 (予算) の方向性			
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)		管理指導員 (教頭等) と連携し、効率的・簡素な事務運営を目指す。			

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 ( 成 果 )	拡 充					
		維 持					
(2) 総評		縮 小					
		休廃止 (統合含む)					
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入 (予算) の方向性					



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02451	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興グループ	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
	目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	スポーツ振興計画	

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)**  
 ・目的・・・スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。  
 ・内容・・・団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施  
 ・各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本財<sup>※</sup>少300円・県財<sup>※</sup>少300円・市財<sup>※</sup>少100円)、単位団1団(市財<sup>※</sup>少1,000円)であり、令和元年度の登録受付期間は4月20日～5月31日まで、追加登録受付期間は6月1日～8月9日までである。  
 ・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給  
 ・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等  
 ・スポーツ少年団活動領域にかかる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回	12	12	5	12
イ 競技種目数	種目	12	12	9	12
ウ					

**(2) 事務事業の目的**

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 霧島市スポーツ少年団員	登録団員数	人	1,105	1,100	1,068	1,100
イ 霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数	団	65	60	61	60
ウ						

  

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数(体力テスト1級/テスト上参加者)	%	11.10	15	6.90	15
イ 奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数	人	295	345	276	345
ウ						

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。  
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 スポーツ少年団活動については、青少年育成の場であり、勝利至上主義や行き過ぎた指導がないよう、指導者研修会の開催や県が行う講習会へ積極的に参加を促していく必要がある。また活動回数や1日の活動時間を守るよう指導する。  
 また、毎年4月29日に実施している「スポーツ少年団結団式」について、開催の要否を含めた検討を行う。

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,500	1,500	1,500	1,305
		事業費	千円	1,500	1,500	1,500	1,305

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
スポーツを通じた青少年の健全育成を目的に、総会、競技別交歓大会、指導者研修会、フェスティバルを実施した。 令和元年度は登録団数が61団、団員数1,068(男子685名、女子383名)指導者272名。 また、その中には、中学男子54名、女子26名、高校男子2名、女子2名が含まれている。	スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、指導者の役割が大変重要であるが、スポーツ少年団のあるべき姿を正しく理解していただけない団もあり、更なる研修が必要である。

事務事業 番号	02451	事務 事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率 性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由
		本事業は、スポーツを通じた児童生徒の健全育成を図るものであり、事業規模の縮小は、家庭や各学校に重大な影響を与えることとなるため、継続が妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	縮 小				
	休廃止 (統合含む)				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入 (予算) の方向性			
		・スポーツ少年団活動については、青少年育成の場であり、勝利至上主義や行き過ぎた指導がないよう、指導者研修会の開催や県が行う講習会へ積極的に参加を促していく必要がある。また活動回数や1日の活動時間を守るよう指導する。 ・毎年4月29日に実施している「スポーツ少年団結団式」について、近年の参加率の低下を鑑み、令和2年度は実施を見合わせた。参加率の向上が見込める開催内容の検討を行い、今後開催の要否の検討を行う。 ・令和2年度から、指導者に関する制度改定等がなされたため、各団への周知を徹底する。 ・近年、団員数が減少傾向にあるため、チラシを作成し各小中学校に配布する等、団員数の増加に努める。			
		・「スポーツ少年団結団式」の開催有無を含めたあり方の検討を行う。 ・令和2年度から、指導者に関する制度改定等がなされたため、各団への周知を徹底する。			

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
(2) 総評	縮 小		
	休廃止 (統合含む)		
		皆 減	縮 小
		維 持	拡 大
		コスト投入 (予算) の方向性	



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02452	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和36年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進委員に関する規則・霧島市非常	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 市内各地区から推薦を受けた者を市がスポーツ推進委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民スポーツの振興のため指導・助言を行う。  
 ・各地区のスポーツ推進委員(国分26人、溝辺12人、横川7人、牧園10人、霧島7人、隼人20人、福山8人)計90人  
 ・スポーツ推進委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等  
 ・ニュースポーツ指導(全地区)、県地区対抗女子駅伝競走大会(全地区)、県下一周駅伝大会(溝辺、霧島を除く全地区)等  
 職員は各地区の担当者が事務局として関与。市民のスポーツに関する連絡調整、スポーツイベントの企画運営役を支援している。スポーツ推進委員の活動後、報酬・費用弁償の支払い事務を行なう。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア スポーツ推進委員開催行事	回	10	10	9	10
イ 会議の回数	回	44	50	40	50
ウ 指導回数	回	34	35	32	35

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の数(各地区より)	人	90	90	90	91
イ 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
ウ						

  

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア スポーツ推進委員の指導力が向上する	出前講座(ニュースポーツ講座)派遣回数	回	34	35	32	35
イ 市民のスポーツへの関心が高まる	スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合	%	39.90	45	39.90	56
ウ						

(3) 総合計画との関係

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。  
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 各地区での活動はもとより、霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置した各専門部会の活動を充実させることで、協議会全体の意識、知識、技術の向上を図る。また、スポーツ推進委員の地区、県、九州、全国研修への積極的な参加を促すほか、市単独の研修会を開催し、必要なスキルを身につける。  
 一方で、活動が活性化されたことに伴う予算措置ができておらず、スポーツ推進委員の中から不満が聞かれる状況にあるため、必要な予算については確実に措置できるよう努める。

4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	7,614	8,809	6,399	8,387
		事業費	千円	7,614	8,809	6,399	8,387

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>  
 ・協議会組織内の部会(総務・研修・女性部会)を中心に自主的かつ積極的な活動が行われた。  
 ・研修部会により、「新しいニュースポーツについて」「正しいラジオ体操」をテーマに実技研修を行った。  
 ・県地区対抗女性駅伝、県下一周駅伝において、大会運営・補助業務にあたった。  
 ・32回の出前講座を行った。

(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>  
 ・地区単位で実施するスポーツイベントにおいて、企画・運営・指導・連絡調整の業務に従事し、市民へのスポーツ普及推進を図った。またかごしま国体関連事業にも積極的に参加することで、国体の気運醸成にも関わることができた。  
 ・研修部会を中心に独自で研修会を開催したことで、これまでの地区、県、九州地区での研修会だけでなく、より実状に近い内容で取り組むことができた。  
 ・小学校、家庭教育学級、地区子ども会等へニュースポーツの実技指導を行ったことにより、親子のふれあい、地域のコミュニケーションづくり、スポーツへの興味・関心の高揚等が図られた。

事務事業 番号	02452	事務 事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

**6. 振り返り <SEE (check) >**

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	<b>A</b>	自治体は、スポーツ基本法により非常勤公務員であるスポーツ推進委員を置くことが定められており、スポーツ推進委員活動の費用についても主に報酬と費用弁償となっており、これ以上の削減は見込まない。市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを行う環境づくりをよりよいものにするためにも、今後も自己研鑽に努め、スポーツ推進委員の資質向上に繋がる活動が必要となる。

**7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)**

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民のニーズに応え、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに寄与できるよう、独自の研修会開催や地域のスポーツ振興事業等を主体的に参画・実施する。					
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	スポーツ推進委員の資質向上に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブとの連携を深めることで、より一層生涯スポーツの振興を図る。					

**8. 2次評価結果 (担当部長評価)**

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充						
		維持						
		縮小						
		休廃止（統合含む）						
			皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								



<b>1. 基本情報</b>							
事務事業番号	02453	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業		担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度	昭和29年度	~)
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(	~)	
	目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画		

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)**  
 昭和29年奄美の日本復帰などを記念してスタートした大会で、平成30年度66回大会では、前回大会と一部区間(霧島市内)のコース変更があり、1日目11区間128.9km、2日目10区間112.7km、3日目11区間122.6km、4日目10区間106.4km、5日目11区間113.4km合計5日間53区間584.0kmをタスキをリレーする。霧島市は、第3日目中継所2箇所(横川・牧園)、ゴール1箇所(隼人)、第4日目スタート1箇所(国分)、中継1箇所(福山)、第5日目中継2ヶ所(福山・国分)があり、中継所接待及び走路の交通誘導等を行い、選手が安全に競技できるよう大会を支援する。  
 ・南日本新聞社主催の、県内男子では最大規模の駅伝大会である。  
 ・本事業を開催するに当たり、中継所、ゴール、スタートの会場設営。歓迎催事の太鼓、吹奏楽の手配。駐車場の確保、雑踏整理を行っている。また、交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 自主交通整理員・誘導員数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	182	182	185	185
イ 中継所・スタート・ゴール箇所(横川、牧園、隼人、国分、福山)	箇所	7	7	7	7
ウ					

**(2) 事務事業の目的**

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 県下一周市郡対抗駅伝出場者	駅伝大会出場者数(霧島市内走者)	人	96	96	96	96
イ 観戦者	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
ウ						

  

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた個所数	箇所	84	84	84	84
ウ						

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。  
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。  
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画	
本大会は、平成30年度で66回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず市民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を配し使用するため、事故と関係のないコース確保と、必要な人員の配置、警備や主催者等関係各所を連携し、責任をもつ必要がある。また、スタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いので、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。	<b>事業費</b> <b>投入量</b>	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	56	60	55	60
		事業費	千円	56	60	55	60

**5. 平成31年度の実績及び成果**

**(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>**  
 選手が安全で快適に競技できる環境作りのために、第3日目中継所2箇所ゴール1箇所、第4日目スタート1箇所、中継1箇所、第5日目中継2ヶ所を、スポーツ推進委員のべ63名、職員等のべ122名で、中継所設置、ゴール設置、スタート設置等の環境を整備を行った。

**(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載>**  
 令和元年度においては、事前に広報誌、無線放送等で駅伝大会の実施について市民に周知し、また、ゴール周辺の地域住民に配慮し、安全かつトラブル防止のため警備員として職員を配置した結果、選手、運営従事者、観客等に事故等は生じず大きな混乱は見られなかった。

・県下一周市郡対抗駅伝競走大会 始良地区 総合優勝(3連覇)

事務事業 番号	02453	事務 事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<p style="text-align: center;">A</p> <p>全県をあげての大会であり、本市の判断で廃止・縮小等することは大会運営に重大な影響を及ぼすため、継続して取り組むことが適当である。</p>

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充				
		維 持		レ		
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	本大会は、令和元年度で67回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず県民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を使用するため、事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置、警察や主催者など関係各所を連携を図り、責任をもって市が関与しなければならない、今後も最善の注意をもって取り組む必要がある。またスタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。					
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	本市が担当する中継所・スタート・ゴールの場所について、道路事情や声援を送る市民の状況を精査しながら主催者と連携・調整して最善のコースとなるよう努める。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02454	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業			
担当部	市民環境部			担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計				
	款	10	教育費			
	項	07	保健体育費			
事業期間	目	02	社会体育振興費			
	根拠法令・条例等		特になし			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 本イベントはMBCが主催する。鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、毎年1月の最終日曜日に開催される県内ではトップクラスの女子駅伝大会。6区間21.095kmの区間で競争し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。  
 ・参加チーム(鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区)計12チーム  
 ・コース 霧島市隼人運動場をスタート 鹿児島神宮前交差点 鹿児島神宮入口交差点 木之房交差点 ホテル京セラ前交差点 河川敷 野口橋交差点 下井 野口橋交差点 ホテル京セラ前交差点 鹿児島神宮入口 鹿児島神宮前交差点 霧島市隼人運動場  
 ・本事業を開催するに当たり、開閉会式の会場設営。グラウンドの整備、整地。防霜対策としての塩化カリウムの散布、及び200mトラックを整備している。また、走者沿道ののぼり旗の設置と撤収。交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 交通指導員設置人数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	64	64	71	71
イ 中継箇所	箇所	6	6	6	6
ウ コース美化距離(自治会等によるボランティア)	km	5	5	5	5

**(2) 事務事業の目的**

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192
イ 観戦者	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
ウ						

  

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70
ウ						

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。  
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。  
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画		
広域的に公道を利用する大会であり、より安全面に配慮した大会運営が必要であるため、道路事情の変化に伴う立寄場所の再点検や、交通安全の適正人員について、関係機関と常に協議を行う必要がある。また、県内最高レベルの女子駅伝競走大会であり、市民が身近にトップレベルの選手を見る良い機会であるため、コース沿いの見学場所の安全確認等も併せて行う必要がある。		事業費	千円	0	0	0		
		国庫支出金	千円	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	2,771	2,773	2,788	2,773	
		事業費	千円	2,771	2,773	2,788	2,773	2,773

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
職員延べ57名(事前準備39名+大会当日18名)、スポーツ推進委員51名、交通安全協会21名を動員し、選手が安全で快適に走れるコースづくりとともに、市民が安心して応援できる環境を整備した。  【令和元年度始良チーム成績】 優勝 京セラ女子陸上競技部を中心にチームが構成され、全国大会で優秀な成績を収めた高校生の活躍もあり、3年連続の優勝を飾った。	鹿児島県内最高レベルの女子駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れることや市民が安心して応援できる環境を整備することにより、女子長距離界の選手の育成・強化と市民の「観るスポーツ」のレベルアップが図られた。毎年霧島市で開催されることにより、経済効果はもちろん、本市の魅力度向上が図られ、県内に発信することができた。

事務事業 番号	02454	事務 事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	この県内トップレベルの大会が安全に開催され、市民が安心した応援できることは、市民スポーツ活動を充実させることに繋がる。そのためコースの整備や中継所の設置・運営、応援者の安全確保のための警備や交通誘導は、市が取り組むべき事項である。現在、必要な交通警備員やボランティア員を必要数確保し、効率的かつ効果的に配置しており、これ以上の人員削減や業務時間の削減は、安全な大会運営に支障をきたす。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	縮小				
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	この大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、このような選手が走る姿を身近に肌で感じる機会を作ることができるのは、開催市であるからに他ならない。今後も市民により一層親しまれる大会にするために大会PRなど積極的に行っていききたい。				
	また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う立哨箇所の特設検や交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議・検討する必要がある。				
		安全面に配慮し、効率的かつ効果的な人員配置や業務スケジュールを引き続き検討し、関係機関との連携をより一層図っていききたい。			

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
(2) 総評	縮小		
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	



1. 基本情報						
事務事業番号	02455	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	3961	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和30年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 各種体育大会の予選を勝ち抜き九州及び全国大会への出場が決定しているもの、各種体育大会の県選抜の一員として、又は、各種体育団体の代表者からの推薦を受け九州及び全国大会への出場が決定しているものに補助金を交付する。  
 [補助金の交付対象]  
 市内の小・中学校の児童・生徒及び団体(日本スポーツ少年団登録者及び団体、(財)日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。)  
 市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体((財)全国高等学校体育連盟加盟校、(財)日本高等学校野球連盟加盟校は除く。)  
 [補助金の額] 九州大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体30,000円 個人5,000円、左記以外 団体10,000円 個人3,000円  
 全国大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体50,000円 個人10,000円、左記以外 団体25,000円 個人6,000円  
 \*九州・全国大会が県内開催時の場合は、予選大会の結果が準優勝以上の場合のみ交付し、補助金の額は、団体10,000円 個人3,000円

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 補助を行った件数	件	110	110	71	135
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	人	500	500	330	650
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)  
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。  
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。  
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 今年度から、団体に対する補助金額をそれぞれ5,000円増加し、九州大会30,000円、全国大会50,000円としたが、出場経費が多額であり、県等を代表して出場するにもかかわらず、またまた個人負担が重いことから、引き続き、他自治体の支援状況の調査を行い、補助額の検討を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度当初予算	3年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	3,200	0
一般財源	千円	1,396	1,100	1,091	89	3,289
事業費	千円	1,396	1,100	1,091	3,289	3,289

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>制度改正</p> <p>九州大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体 25,000円 30,000円(5,000円増額)                      全国大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体 45,000円 50,000円(5,000円増額)</p> <p>【平成31年度実績】</p> <p>大会別の交付件数                      九州大会:24件、準全国大会:3件、全国大会:44件 計71件</p> <p>個人・団体別の交付件数及び交付額                      個人:47件 351,000円                      団体:24件 740,000円                      計 1,091,000円</p>	<p>全国大会、九州大会に出場した個人・団体に補助金を交付。市からの補助金を交付することで参加者の励みになり、霧島市のスポーツ振興が図られた。</p> <p>しかしながら、平成31年度の交付実績は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多数の大会が中止となり、昨年度と比較して、件数で約64.5%、交付額で約78.2%といずれも減少した。</p>

事務事業 番号	02455	事務 事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 出場経費の個人負担が軽減される全国、九州大会出場者が増えることは、スポーツ活動が活性化することで意図に結びついている。市民が鹿児島県を代表して参加することは、青少年をはじめ多くの市民に夢や感動を与える。また、活力ある地域づくりを進めていくうえで、大きな意義があることから市が行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	令和2年度から小・中学生の補助金上限額の増額及び新たにスポーツ少年団対象として加えるなど当該制度の改正について、広報誌の掲載やスポーツ少年団等の関係団体への周知に努める。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	中・長期的なスポーツ振興、競技力の向上等には、青少年育成が重要であり、また、青少年が家庭の経済的差により全国大会等出場の際の障害とならないようより手厚い支援が必要であることから、青少年世代に当該制度を知っていただけるよう広報誌の掲載やスポーツ少年団等の関係団体への周知に努める。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入(予算)の方向性			
(2) 総評			



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02456	事務事業名	市体育協会運営支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興G	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	3961	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度( ~ )	
	目	02 社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成18年6月23日、旧1市6町の体育協会を一つに統合するための総会が開催され、霧島市体育協会が発足。本事業は、市スポーツ協会(平成30年度名称変更)への補助事業であり、協会が各種競技団体を統括し、一体となった活動を行うことで、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。事務書記1名。  
 ・加盟団体数・会員数 34団体約8,134人  
 ・種目:陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・クレ射撃・空連空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・ソフトバレー・太極拳・防具付空手道・パワーリフティング・少林寺拳法・トランポリン 全34種目  
 職員は、監査、総会、地区大会、県大会に事務局員として参加。当協会の事務局員として連携している。

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
ア	各競技団体による大会の開催	回	226	230	218	230
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
ア	市体育協会加盟団体	団体	33	34	34	36
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (目標)
ア	各競技団体の活性化を図る	回	20	4	2	4
イ	各競技団体の活性化を図る	回	8,663	9,000	8,134	9,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。  
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。  
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 ・競技団体の新規加入促進を図るとともに、行政と協会が連携してより充実したスポーツ振興が図れるよう支援を行う。  
 ・市内で開催される、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が成功するようスポーツ協会を通して競技団体等の支援を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	19,256	19,234	18,582	12,907	19,234
事業費	千円	19,256	19,234	18,582	12,907	19,234

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 市民の体力向上・健康増進及び競技力向上を目指して活動している霧島市スポーツ協会へ事業負担金の交付を行った。同協会は、34の競技団体が加盟し、市民の健康・体力向上及びスポーツ振興を目的とした事業を展開し、大会、組織強化、育成大会等を開催し競技力向上を図った。また、かごしま国体・かごしま大会の成功に向け役員が茨城国体視察を行った。	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載> 霧島市スポーツ協会加盟団体が開催する大会等の数は200を超えており、各経団体の特色を活かしながら市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興が図られた。協会のさらなる発展のため、加盟団体数の増加にも努めており令和元年度に1団体(トランポリン)加盟した。
---	---

事務事業 番号	02456	事務 事業名	市体育協会運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
<b>総合評価判定基準</b>		<b>総合評価</b>
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b>
		<b>理由</b> 市スポーツ協会が開催する多数のスポーツ大会等は、市民へのスポーツの普及振興と競技スポーツの振興に寄与している。また、市と協働するスポーツ事業も担っており、継続的に支援していくことは必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。</li> <li>・法人化に向けた検討・協議を行う。</li> <li>・「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた協力体制を整えていくことが必要なことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。</li> </ul>				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。</li> <li>・法人化に向けた検討・協議を行う。</li> </ul>				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02457	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(平成27年度 ~ 平成31年度)	
	目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等 霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設設管条例	
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

<b>2. 事務事業の概要・目的・指標&lt;Do&gt;</b>						
<b>(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)</b>						
【施設の概要】所在地：霧島市国分清水309番地、施設及び開設日：国分体育館(昭和52年)、国分運動公園陸上競技場(平成8年)、国分球場(昭和51年)、庭球場(昭和51年)、多目的広場(平成5年)、多目的屋内運動場(平成11年)、国分武道館(昭和57年)、国分弓道場(昭和58年)、開館時間：8:30~22:00						
【指定管理者】(株)エルグ・テクノ、指定期間：平成27年度~31年度						
*指定管理者制度は平成18年に導入され、現在3期目に入っている。						
【主な利用料金】国分体育館(880円/時間)、国分運動公園陸上競技場(990円/時間)、国分球場(440円/時間)、庭球場(250円/面)、多目的広場(600円/時間)、多目的屋内運動場(600円/時間)、国分武道館(440円/時間)、国分弓道場(480円/回)						
<b>活動指標 (事務事業の活動量)</b>						
	活動指標	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア	指定施設数	施設	8	8	8	8
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	28	30	27	30
ウ	指定管理者による自主事業実施数	件	28	30	27	30
<b>(2) 事務事業の目的</b>						
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア	市民	人口	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	95	95	89	95
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	243,136	250,000	196,159	250,000
ウ						
<b>(3) 総合計画との関係</b>						
<b>基本事業の目的、取組方針(総合計画より)</b>						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

<b>3. 前年度の評価表に記載した課題</b>		<b>4. 事業費の推移</b>					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画	
国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設・設備の修繕を行う必要がある。		国庫支出金	千円 69,620	0	0	0	
		県支出金	千円 11,776	0	0	0	
		地方債	千円 0	0	0	0	
		その他	千円 0	0	0	0	
		一般財源	千円 135,410	48,341	447,553	54,198	
		事業費	千円 216,806	48,341	447,553	54,198	

<b>5. 平成31年度の実績及び成果</b>	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<b>【指定管理料実績】</b> ・指定管理料実績 51,621千円 <b>【市の活動実績】</b> ・修繕 13件 7,179千円 ・改修工事 1件 契約額 31,900千円	・利用者アンケートでは施設運営の満足度において95.0%が満足・やや満足という結果を得られた。 ・施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上を図った。 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情改善点、連絡・報告事項等、密に連携を行った。

事務事業 番号	02457	事務 事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、継続して取り組むことが適当である。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ( 成 果 )	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設・設備の修繕を行う。</li> <li>・令和3年度末に陸上競技場の3種公認継続申請を受験予定であり、あらかじめ検定員から指摘されている事項等を踏まえて、必要な改修を実施する。</li> <li>・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。</li> </ul>				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が更に安心・安全に利用できるよう、計画的に修繕を行う。</li> <li>・令和3年度末に陸上競技場の3種公認継続申請を受験予定であり、あらかじめ検定員から指摘されている事項等を踏まえて、必要な改修を実施する。合わせて、必要な備品の購入を行う。</li> </ul>				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	市民環境部長	本村 成明
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ( 成 果 )	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	令和3年度の国分運動公園陸上競技場の3種公認の更新に向けて、令和2年度から3年度にかけて、日本陸連の規則改正に伴うリレーゾーンのマーキング位置の変更や走り幅跳び走路等の大規模な補修を行うとともに、芝の張替えや芝の生育に必要な水管理を適切に行うための散水設備を設置する予定であり、陸上競技者のレベル向上、及び市民の利用機会の拡大やサッカー・ラグビーの利用拡大を想定している。				



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02458	事務事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(平成27年度 ~ 平成31年度)	
	目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等 霧島市営プールの設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

<b>2. 事務事業の概要・目的・指標&lt;Do&gt;</b>						
<b>(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)</b>						
【施設の概要】所在地：霧島市国分中央一丁目14番78号、施設(開設年)：屋内プール(H3)、屋外プール(H3)、ふれあい温泉センター(H3)、開館時間：屋内プール及び屋外プール10:00~21:00、ふれあい温泉センター：休館中 【指定管理者】(株)エルグ・テクノ 管理期間：平成27年度~平成31年度						
【主な利用料金】屋内・屋外プール 一般：420円 高齢者：210円 児童生徒：210円 未就学児：無料 ふれあい温泉センター 210円						

<b>活動指標 (事務事業の活動量)</b>		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	3	3	3	3
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	19	30	27	30
ウ	指定管理者による利用者確保のためのPR回数	回	19	30	27	30

<b>(2) 事務事業の目的</b>						
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>対象指標</b> (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	市民	人口	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>成果指標</b> (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	%	85	90	82.20	95
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	60,531	65,000	52,076	65,000
ウ						

<b>(3) 総合計画との関係</b>						
<b>基本事業の目的、取組方針(総合計画より)</b>						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

<b>3. 前年度の評価表に記載した課題</b>	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。	

<b>4. 事業費の推移</b>		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円 0	0	0	0
		県支出金	千円 0	0	0	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	0
		一般財源	千円 32,842	35,064	37,850	45,168
		事業費	千円 32,842	35,064	37,850	45,168

<b>5. 平成31年度の実績及び成果</b>	
<b>(1) 平成31年度の実績(取組) &lt;取組内容を数値等により具体的に記載&gt;</b>	
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 33,520千円 【市の活動実績】 ・修繕料 5件、5,111千円 ・賃借料 2件 3,122千円	
<b>(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載</b>	
・利用者アンケートでは、総合的な施設の印象において、82%の方に「良かった・どちらかといえば良かった」と回答していただいた。 ・市では5件の修繕を行い、老朽化した施設、設備の更新を行った。 ・中央監視装置リースの長期継続契約を行い、施設・設備管理の利便性が向上した。 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を図った。	

事務事業 番号	02458	事務 事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。</li> <li>利用者が快適に施設を利用していただけるように、エアハンドリングユニット改修を行う。</li> <li>スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。</li> </ul>				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	水難事故を防止するために、指定管理者に施設管理を徹底してもらおうと共に、定期点検等により、危険箇所の早期発見を心がけ、利用者の安全を確保する。 ・令和3年度末に競泳プール再公認申請を受験するために、必要な改修や備品の購入を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充					
		維持					
		縮小					
	休廃止(統合含む)						
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入(予算)の方向性							
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02459	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~ ) 期間限定複数年度(平成28年度 ~ 令和2年度)
	款	10 教育費				
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		根拠法令・条例等	霧島市都市公園条例ほか
					関連計画	霧島市スポーツ振興計画

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
**【施設の概要】**所在地：(国分海浜公園)霧島市国分清水5丁目9番地39(南公園)霧島市国分上井183番地(児童体育館)霧島市国分広瀬2丁目34番地11(春山緑地公園)霧島市国分重久5550番地2 (開設日)：国分海浜公園(昭和58、59、62年、平成11年)、国分北公園(平成2年)、南公園(昭和58年)、児童体育館(昭和50年)、春山緑地公園(平成26年度) 開館時間：(国分海浜公園、北公園、南公園)8：30～22：00 (児童体育館)10：00～22：00 (春山緑地公園)8：30～18：30(10～3月は17：00まで)  
**【指定管理者】**(一財)霧島市施設管理公社、指定期間：平成28年度～32年度  
**【主な利用料金】**国分海浜公園体育館：バレーボール(1面につき1時間)一般240円・子ども120円、国分北公園多目的広場：ソフトボール(1面につき1時間)220円、国分南公園：ソフトボール場：220円(1時間)、国分児童体育館：240円(1時間)、春山緑地公園：野球(1面につき)360円

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 指定施設数	施設	11	11	11	11
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	3	3	6	3
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	3	3	6	3

**(2) 事務事業の目的**

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「施設の総合的印象」の「期待した以上によかった・期待通りだった」の割合%	%	83	80	82	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	128,347	120,000	136,552	120,000
ウ						

**(3) 総合計画との関係**

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。  
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。  
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 施設の経年劣化が目立つが、指定管理者の多大なる協力を得ながら施設の管理運営を行っている。市でも、危険箇所、法令上必要な最低限の修繕は行っているが、利用者の利便性向上を考慮した施設運営ができるよう、指定管理者と更なる連携を図る。		事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0
				その他	千円	0	0	0	0
				一般財源	千円	33,772	34,086	34,119	34,399
				事業費	千円	33,772	34,086	34,119	34,399

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<b>【指定管理料実績】</b> ・指定管理料実績 34,120千円 <b>【市の活動実績】</b> ・修繕 6件 3,078千円 ・備品購入 1件 156,600円 ・委託 2,249千円	かごしま国体ジャズ体操競技の会場として、海浜公園施設を重点的に整備した。また、春山緑地公園グラウンドを市ソフトボール協会と連携し、重機を用いた大規模な整地作業を行い、利用者のニーズを把握した上で利便性を高め、利用率の向上を図った。

事務事業 番号	02459	事務 事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
<b>総合評価判定基準</b>		<b>総合評価</b>
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b>
		<b>理由</b> 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。</li> <li>・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。</li> <li>・高木枯枝の落下による利用者の危険性を鑑み、伐採業務を行う。</li> </ul>				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	指定管理者の蓄積された知識、技術等を活かすため、施設管理者との月例報告会（毎月）を設けるようにする。また、施設の修繕等の適切な優先順位を定めるため、利用者ニーズや競技団体の意見を把握する取組みを行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>					
事務事業番号	02464	事務事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~ ) 期間限定複数年度(平成27年度 ~ 平成31年度)
	款	10 教育費			
	項	07 保健体育費			
	目	03 社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市営体育施設の設置及び管理に関する条例
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

**2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>**

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 【施設の概要】所在地：霧島市隼人町内山田1丁目14番地16、施設及び開設日：隼人運動場(昭和44年)、隼人体育館(昭和45年)、隼人武道場(昭和55年)、隼人弓道場(平成14年)、閉館時間：8：30～22：00  
 【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間：平成27年度～31年度  
 \*隼人運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在3期目。  
 【主な利用料金】隼人運動場ソフトボール1面(210円/時間)、隼人体育館バレーボール1面(220円/時間)、隼人武道場1面(110円/時間)、隼人弓道場(50円/回)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 指定施設数	施設	4	4	4	4
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	70	100	8	8
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	70	100	71	100

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	38.50	60	62	65
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	127,141	145,000	117,613	145,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

**基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**  
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。  
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。  
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

**3. 前年度の評価表に記載した課題**

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)  
 利用者アンケートの結果で、満足・やや満足と回答の方が昨年度と比較して増加したことから、今後も継続して利用者満足度を高めるよう、指定管理者と協力して運営していく。また、不満足度が一番低い評価を受けたのが施設設備の充実であったことから、利用者のニーズに配慮し、年次的に老朽化した備品や不足している設備等について整備していく必要がある。また当該施設は、令和2年にかごしま国体のハンドボールが開催予定であり、全国から多くの関係者が訪れるため、必要な改修・整備を進める。体育館については年度内に床研磨を行う。

4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,532	13,615	13,675	14,911
事業費		千円	13,532	13,615	13,675	14,911

**5. 平成31年度の実績及び成果**

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<b>【指定管理料実績】</b> ・指定管理料実績 13,676千円 <b>【市の活動実績】</b> ・修繕 1件 789千円	・利用者アンケートでは、「総合的な施設の印象」の項目で、「期待した以上に良かった」「期待どおりだった」が約62%で昨年度よりも増加した。 ・指定管理期間の最終年度で、次年度からの指定管理者について公募を行い、引き続き、NPO法人隼人錦江スポーツクラブを指定管理者として選定した。 ・市としては、指定管理者と協力のもと施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上が図られた。

事務事業 番号	02464	事務 事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
<b>総合評価判定基準</b>		<b>総合評価</b>
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<b>A</b>
		<b>理由</b> 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。また、かごしま国体のハンドボール競技の会場となっているので、引き続き競技団体と連携して準備を行っていく。なお新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ庁が出している公共施設運営のガイドライン等に沿って適切な運営を行っていきたい。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	安心安全な施設運営ができるよう、指定管理者との連携を図り、必要な施設整備や備品整備を計画的に進める。また施設利用者が増えて、多くの市民の方がスポーツを親しむことができるよう、自主講座の充実を図る。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業番号	02465	事務事業名	隼人松永運動施設管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~ )	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(平成27年度 ~ 平成31年度)	
目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市営プール設置管理に関する条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

<b>2. 事務事業の概要・目的・指標&lt;Do&gt;</b>								
<b>(1) 事務事業の概要</b> (具体的なやり方、手順、詳細を記述)								
【施設の概要】所在地：(霧島市隼人庭球場・隼人健康温水プール)霧島市隼人町松永1678番地1、(隼人温水プール)霧島市隼人町松永二丁目80番地 施設及び開設日：霧島市隼人庭球場(平成15年寄附)、隼人健康温水プール(平成16年)、隼人温水プール(昭和44年) 開館時間：隼人庭球場8：30～21：00、隼人健康温水プール・隼人温水プール10：00～21：00								
【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間：平成27年度～31年度 *隼人松永運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。 【主な利用料金】隼人庭球場：1コートにつき250円/時間(児童生徒は半額)、隼人健康温水プール・隼人温水プール：一般310円/回、高齢者・児童生徒160円/回								
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)				単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込) (実績)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	3	3	3	3	3	
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	100	125	6	6	6	
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	100	125	6	6	6	
<b>(2) 事務事業の目的</b>								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込) (実績)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)	
ア	市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181	
イ								
ウ								
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標) (実績)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)	
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の影響」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	65	80	69	80	
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	42,030	45,000	40,666	45,000	
ウ								
<b>(3) 総合計画との関係</b>								
<b>基本事業の目的、取組方針(総合計画より)</b>								
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。								

<b>3. 前年度の評価表に記載した課題</b>				<b>4. 事業費の推移</b>				
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 隼人温水プールの温泉水及び地下水の汲み上げ量が減少しており、夏季・冬季のプールの水位が不足していることから利用者に不便をかける。また、夏季は不足分を水道水で補って対応しており、水道料金が運営状況を圧迫している。今年度は汲み上げ量を回復するため、ボーリングの実施を含めた対応策の検討や実施を行う。				単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	19,850	20,029	20,393	24,615
事業費			千円	19,850	20,029	20,393	24,615	

<b>5. 平成31年度の実績及び成果</b>	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 20,394千円 【市の活動実績】 ・修繕 2件 544千円	・3期目の4年目を迎え事故等もなく安全に施設運営ができた。 ・利用者アンケートでは施設運営の満足度において69%が「期待した以上によかった」「期待どおりだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。 ・隼人温水プールにおいて懸案事項であった井戸水の揚水量不足について、揚水ポンプを能力の高い新規のものに取替えたことで解消することができ、プール内の水量を確保することで利用者の利便性を向上することができた。

事務事業 番号	02465	事務 事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。また今年度は指定管理期間の1年目であり、市民の施設への評価が向上するよう指定管理者と必要な対策を協議・実施していきたい。なお新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ庁が出している公共施設運営のガイドライン等に沿って適切な運営を行っていきたい。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	隼人温水プールは昭和44年に建設され約50年が経過しており、施設の老朽化が激しい。また屋根や外壁がスレート材のため、冬になると室温及び水温の維持ができないため、非常に寒く利用者からも改善を求める声が多い。また施設を支える鉄骨についても、サビや腐食が進んでいる。今後の施設のあり方について市の公共施設管理計画との整合性を図りながら検討を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			



<b>1. 基本情報</b>							
事務事業番号	02467	事務事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）		担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ（社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり）			担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ振興グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返（開始年度	平成17年度	～
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度（	～	）
	目	03	社会体育施設費	根拠法令・条等			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

<b>2. 事務事業の概要・目的・指標&lt;Do&gt;</b>						
<b>(1) 事務事業の概要</b> （具体的なやり方、手順、詳細を記述）						
スポーツ・文化振興課及び各総合支所地域振興課が所管する施設のうち、指定管理者制度を導入していない市の直管施設の管理運営と、市が行わなければならない1件あたり10万円（消費税含む）以上の修繕を行う事業。 64施設。 <b>【事務事業の流れ】</b> 4月下旬までに各所管課より修繕依頼を提出 5月中旬までに各施設の修繕要望箇所を把握。必要に応じて現地調査。 5月中旬までに優先順位を付して、各地区担当者へ予算配当 各地区において修繕の執行						

<b>活動指標</b> （事務事業の活動量）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 修繕を実施した件数	件	50	16	25	45
イ 購入した備品の件数	回	23	9	11	15
ウ					

<b>(2) 事務事業の目的</b>						
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>対象指標</b> （左記対象の大きさを表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 市民	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>成果指標</b> （左記意図の達成度を表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（目標）	令和2年度（目標）	令和3年度（目標）
ア 施設を閉館する	閉館した施設数	件	0	0	0	0
イ 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	68.50	70	88.90	90
ウ						

<b>(3) 総合計画との関係</b>						
<b>基本事業の目的、取組方針（総合計画より）</b>						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

<b>3. 前年度の評価表に記載した課題</b>	
平成31年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）	
施設の老朽化や利用者が偏っている施設もあることから、公共施設管理計画に基づき、施設の統廃合や削減の可能性について検討する。	

<b>4. 事業費の推移</b>		単位	30年度決算	31年度当初予算	2年度当初予算	3年度計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	113,412	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	256	289	0	186
	一般財源	千円	859	26,136	211,451	41,889
<b>事業費</b>		千円	114,527	26,425	211,451	42,075

<b>5. 平成31年度の実績及び成果</b>	
(1) 平成31年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
<b>【直営施設実績】</b> ・11施設 <b>【10万円以上の修繕実績】</b> ・25件 12,170千円 <b>【備品購入の実績】</b> ・11件 8,060千円	・25件の修繕を実施し、利用者の安全、安心な利用環境を提供でき、長寿命化策が図られた。 ・11件の備品購入を実施し、大会等で利用する備品の充実を図り、老朽化した備品の改善を行ったことで、スムーズな大会運営が遂行された。 ・直営施設については、地域活動での利用が多く、利用状況に即した事務手続きを運用したことで、地域住民の利便性を図ることができた。

事務事業 番号	02467	事務 事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して維持管理及び修繕を行うことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化や利用者が偏っている施設もあることから、公共施設管理計画に基づき、施設の統廃合や削減の可能性について検討する。				
(3) 令和3年度の方向性（具体的な取組）	公共施設管理計画に基づき、施設のあり方について検討を行い、維持と判断した施設については、安全が確保できるよう維持管理を行う。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

